

## 麻生区区民会議 第5回若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成25年2月12日（火）午後6時00分～午後8時30分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会委員]  
石井委員、金光委員、菅野委員、菅原委員、高橋委員、武濤委員、東川委員、  
矢野委員、山田委員  
[事務局]  
安生企画課課長、白石担当係長、川里、桑原  
[関係課]  
地域振興課 金子担当係長

4 傍聴者 2名

### 5 議 事

#### (1) 企画部会からの報告事項

石井部会長、金光委員より、企画部会議事録をもとに協議内容を説明。

##### 【説明事項】

- ・それぞれの専門部会の動きについて、全体会議の事前に情報共有をしておく。

#### (2) 調査審議事項等について

##### ① 芸術・文化のまちづくり

地域振興課より、資料1をもとに「麻生区の芸術・文化のまちづくりの端緒」「しんゆり・芸術のまちの推進体制の推移」「しんゆり・芸術のまち推進組織の現状と今後のあり方」について説明した。

##### 【説明事項】

- ・第3期区民会議が提案した3つの提言のうち、「（仮称）麻生文化会議の設置」については、現行の「しんゆり・芸術のまちづくりフォーラム」を「芸術・文化ネットワーク組織」に機能変換（移行発展）させる方向で動いている。「文化担当官の設置」については、今のところ特に想定していない。

##### 【主な意見】

- ・もう1つの提言内容である「都市景観条例の見直しと弾力的な運用」の取組み状況についてはどうか。
  - （事務局）まちづくり局に確認したところ、現在地権者との協議、市の都市景観形成協議会での審議をそれぞれ継続中であるとの報告を受けている。今後、基準の改定により、規制緩和の方向に向かう予定である（詳細時期は未定）。
  - 行政の担当部署に来てもらって、一度具体的な進捗状況等の話を伺いたい。
- ・（企画部会でも「若者」と「芸術・文化」の関連性を指摘されたので、）今期の「芸

術・文化のまちづくり」は「若者」テーマに合致する方向で審議検討を進めたい。

**【決定事項】**

- ・次回部会にて「都市景観条例の見直しと弾力的な運用」の取組み状況についての詳細を確認し、その上で第3期区民会議提言のフォローアップをどうするかを再度審議する。

**②「子育てしやすい環境づくり」**

事務局より、資料2をもとに「子育て世代を対象としたアンケート（2月2日に実施）結果および調査審議項目の絞込み（案）」について説明した。

**【主な意見】**

（アンケート結果分析と進め方について）

- ・「子育てで困っていること」の第1位が「保育園がいっぱいで入所できない」となっているが、保育園の設置状況と待機児童数などについて、全市と麻生区とを比較するなど、データの精査により現状把握をする必要がある。  
→テーマの重要性はデータの比較（数字の多寡）だけでは必ずしも判断できない。  
例えば「災害時要援護者」の数が他市と比較して少なくとも「要援護者支援の取組みが不要」という議論にはならない。
- ・今回アンケートを実施したコンサート来場者はある一定層の方のようであったが、それが一般解とはならないのではないか。
- ・アンケート対象者の未就学児の親については、20代が非常に少なく、多くは30代からの回答であった。これは、20代では仕事やその他の理由でこうした行事に参加できない、30代になってからの方が余裕がある、ということだろうか。
- ・麻生区内には子育て支援グループがたくさんあり、積極的な人は方々の子育て支援グループに参加されている。しかし、そこに参加できない人もいることは確かであり、声なき声を拾う必要もあるだろう。  
→アンケートをまたやっても同じ結果となる。今回の結果で全体の傾向はつかめたので、既存調査を尊重し、具体的な課題把握と解決策を導くために、関係者（保育士や子育て支援グループで活躍する人、学校、PTA関係者、区社会福祉協議会ほか）に活動の実態や行政・地域への思いなどヒアリングを行ってはどうか。
- ・まずは、絞込み（案）レベルでテーマを絞ってから、審議を深めるためにヒアリング実施や追加資料による調査など、詳細な現状・課題把握を行うと良い。
- ・ハード面（保育所の入所数増）ばかりでは、単なる区民会議から行政への要望となってしまうから、われわれ区民会議としては主にソフト面でどんなことができるのか、を考えていくのも1つである。
- ・地域の団体にどれだけ働きかけていくのか。  
→地域で展開される具体的な活動について把握したうえで、区民会議としては何ができるか、あるいはどうしてほしいか、をまとめてはどうか。
- ・統計上、麻生区は公園が市内でも多いが、アンケート結果からは「行政に期待すること」の設問で「近くで遊べる公園や広場の充実」がトップになっている。この実

態が何なのかを、公園利用者（子育て世代）などにヒアリングし、解明していくことが必要ではないか。

- ・「子どもと遊べるスポーツ・芸術・文化の各施設や活動の充実」が行政への期待として高いが、市民館などの来館者に具体的に何を求めているかを質問してはどうか。（対象について）
- ・「保育園に入所できない」は「就労できない」に置き換えることもできる。就学児童については、母親も「学校に子どもを預けた」としてホッと就労できる機会も増えると思われる。したがって、未就学児の子育て世代に絞ってはどうか。
- ・子育て世代（特に母親）が安心して子どもを育てられる環境、地域の人がそこにどう関わられるかを考えていく必要がある。そこで、「保育」に特化して考えたい。
- ・部会の目的である「若い世代に麻生区に転入してもらい、地域を活性化する」を達成する上で、子どもが小さいうちから区内に転入してくれた方が、地域への愛着を育む（子育てしやすい、住みやすいと思ってもらおう）上でも有利であり、乳幼児を持つ若い年代をターゲットとするのは理にかなっている。
- ・これまでの麻生区区民会議では、「高齢者」を対象としたテーマは扱ったことがあるが、「（乳幼児を含めた）子ども」に関連したテーマは初めてである。麻生区における「子ども」に関連した取組みとして、まずは「乳幼児の子育て（保育）支援」に取り組んでみる、ということによいのではないか。

（その他の意見）

- ・各ライフステージや家族構成によって、望ましい住環境も変わってくる。
- ・なるべく「子育てしやすい環境づくり」の中で「芸術・文化」の調査審議課題も取り込んでしまえば、部会内で共有した形で議論も進められるのではないか。
- ・作業分担をどうするか。  
→具体的な作業がわからないのに分担はできない。次ステップとして、例えばヒアリング実施の対象や聞きたい項目が分化したら、分担することも考える。

#### 【決定事項】

- ・今後の審議調査は、アンケート結果で「子育てで困っていること」の上位にあった項目（「保育園に入所できない」「いざというときに預かってくれる人がいない」など）を踏まえ、「子育て世代を支援する多様な保育の展開」とする。
- ・「子育てしやすい環境づくり」を考えていく上で、まずは対象を子育て世代のうちの「未就学児の親」に絞り込むこととする。
- ・次回部会では、事務局及び関連部署の取り組み状況報告などを聴取した上で、調査審議の方法論について検討する。  
→事務局は、以下の3項目についての資料（あるいは説明者）を準備する。

ア 保育園入所数の実態

イ 保育関係機関の実態（保育所の種類や差異、設置状況、今後の展開など）

ウ 子育て支援グループの実態（種類や取り組み状況など）

※行政関連部署（こども支援室ほか）、区社会福祉協議会なども関連

### (3) その他

事務局より、資料3をもとに全体会議提出資料について説明した。

#### 【決定事項】

- ・本日の部会の協議事項・絞込み結果を反映した資料に修正する。
- ・「芸術・文化のまちづくり」部分については、第3期提言に対するフォローアップに関して、これまでの既存報告書による現状把握や行政などの取組み状況聴取についても明記するとともに、第4期「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」のテーマに合致する内容も検討することを加える。

以上